

トゲクリガニ

陸奥湾海域

Telmessus acutidens

地方名
はなみがに



生態

- ①寿命：不明
- ②成熟：甲長50mm以上
- ③産卵期：9月～12月
- ④生態：12月から翌3月頃にふ化する。その後、脱皮と変態を繰り返し、2月から5月にかけて親ガニとほぼ同じ形となり、底生生活に移行する。
- ⑤成長：メス、オス共に満1才で甲長約50mm。メスは満2才で甲長約60mm、満3才で甲長約70mm。オスは満2才で甲長約69mm、満3才で甲長約94mm。

主な漁業

籠、さし網によって漁獲される。

漁獲の動向と水準

トゲクリガニの漁獲量は、昭和61年の137トンにピークに減少し、平成9年以降40～80トン前後で推移していた。平成28年の漁獲量は前年を下回り33トンであった。

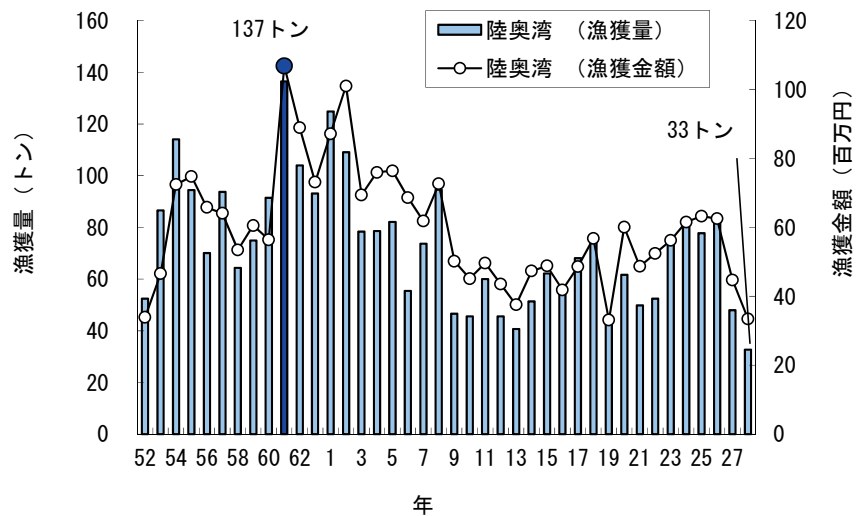


図 青森県陸奥湾海域におけるカニの漁獲量及び漁獲金額の推移
※トゲクリガニ以外のかにも含む数値。陸奥湾では大半がトゲクリガニ。



資源を上手に利用するために

- 資源管理計画（陸奥湾海域 平成12年3月）
 - ・オス甲長7cm未満、メス甲長6cm未満個体、水ガニ（脱皮直後の個体）の再放流などを定めた。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。